

平成 26 年 8 月 13 日
商 工 中 金

「グローバル農商工連携推進事業」として、国産牛肉の輸出増強に取り組む 銀座農園株式会社に 4 千 8 百万円を融資！

商工中金は、地域の基幹産業である商工業と農林水産業との連携を強化し、相乗効果を発揮していく「農商工連携支援」に対して、積極的に支援しています。

商工中金（東京支店）は、銀座農園株式会社（本社：東京都中央区、代表者：飯村 一樹氏）に対し、高品質牛肉の海外販売等にかかる「グローバル農商工連携推進事業」（※）実施のために必要な資金 4 千 8 百万円を融資しました。

銀座農園株式会社は、平成 19 年に「日本の農業を元気にしよう」という理念のもとに設立された農業ベンチャーで、新たな農業技術で都市と農業とが共存する都市農業の推進とともに、地方農産物のアンテナショップの経営といった国内事業のほか、シンガポールでの先端技術による農業生産事業や農産物輸出事業、ASEAN 各国での食のプロモーションを手掛けるなど、国内外でグローバルに展開しています。

平成 26 年 6 月、同社は、平成 26 年度グローバル農商工連携推進事業の採択企業全 9 社のうちの 1 社として選ばれました。採択された事業の主な内容は、①最新のアルコール凍結技術を活用して、鮮度を維持したまま高品質牛肉を冷凍し、船便でマカオ・タイへ本来の肉のおいしさを保った状態で低コスト輸送、②牛肉をおいしく食べるカット技術や国産牛肉のおいしさなどを映像で訴求し、現地で国産牛肉のブランド化を支援、③販売と生産の好循環につなげる生産者支援、というものです。商工中金は、同社の計画を評価し、その実施に必要な資金を融資しました。

商工中金は、こうした農商工連携事業を金融面から支援するとともに、資金面のみならず各種ソリューション・情報提供等を行い、中小企業の戦略的な海外事業展開を支援してまいります。

（※）「グローバル農商工連携推進事業」

農林水産物・食品の輸出促進に向けて、商工業の先端技術・ノウハウなどを活用した生産・加工・流通システムの構築と、海外市場でのブランド構築を図るコンソーシアムによる実証実験の経費の一部を国が支援する制度。

【銀座農園株式会社の概要】

所在地	東京都中央区銀座 1-3-1	資本金	1,650 万円
代表者	飯村 一樹	従業員数	30 名（平成 26 年 7 月現在）
業種	農業商社・飲食店経営	設立	平成 19 年 10 月